



Symantec[™] Endpoint Protection クイックスタートガイド - Japanese - Japan

Updated: September 2021

Symantec Endpoint Protection クイック スタート ガイド

このガイドは、デフォルトで 500 クライアント以下の初回管理下インストール向けに設計されている のダウンロード、インストール、設定を支援します。

アップグレードするには、以下を参照してください。

Symantec Endpoint Protection (SEP) の最新リリースへのアップグレードおよび移行

インストール前: システム要件を確認する

または クライアントをインストールする前に、次のステップを実行してください:

1. [SymDiag](#) をダウンロードし、インストール前の点検を実行して、コンピュータがシステム要件を満たしていることを確認します。
2. 「 [のリリースノートおよびシステム要件](#)」を確認します。

ステップ 1: インストールファイルをダウンロードする

最新バージョンの Symantec ソフトウェアおよびツールをダウンロードし、ライセンスキーを取得し、[Broadcom サポートポータル](#)から製品をアクティブ化します。次のサイトを参照してください。

- [Symantec スタートガイド](#)。それから、[オンプレミスセキュリティ製品] まで下にスクロールします。
- [シマンテックソフトウェアの最新バージョンをダウンロードする](#)

ステップ 2: Symantec Endpoint Protection Manager をインストールする

Broadcom サポートポータルから Symantec ソフトウェアを検索またはダウンロードできない場合は、[カスタマーケア](#)にお問い合わせください。

1. のインストールファイルをダウンロードしたフォルダで、ファイルをダブルクリックしてすべてのファイルを抽出します。[ファイルを開く - セキュリティの警告] のプロンプトが表示されたら、[実行] をクリックします。
2. インストールのバージョンに応じて、以下のいずれかの処理を実行します。
 - バージョン **14.2 MP1a (14.2.1023.0100)** 以降の場合、ファイルは C:\Users\username\AppData\Local\Temp\7zXXXXXXXXXX になります。この XXXXXXXXXXXX は、文字と数字のランダムな文字列を表します。Setup.exe が自動的に起動します。インストールが完了するまで、インストールメニューを開いたままにします。メニューを閉じると、一時ディレクトリ内のすべてのファイルが削除されます。
インストールファイルを保存するには、前述の一時フォルダに移動し、選択した場所にその内容をコピーします。インストールファイルには、[Tools] ディレクトリが含まれています。
 - バージョン **14.2 MP1a (14.2.1023.0100)** より前のバージョンでは、抽出する場所を入力するか、または参照して、[抽出] をクリックします。抽出が完了したら、Setup.exe を探してダブルクリックします。
3. [のインストール] をクリックします。
4. 使用許諾契約の条項に同意してインストールを続行し、すべてのプロンプトをデフォルト設定で受け入れて、[インストール] をクリックします。
5. [管理サーバー設定ウィザードによるこそ] パネルで、[デフォルト設定] をクリックし、[次へ] をクリックします。
SQL Server データベースを使うなど、インストールをカスタマイズする場合は、[カスタム設定] をクリックします。
6. システム管理者のアカウントを作成するのに必要なフィールドに入力し、 が通知を送信するのに使用する電子メールアドレスを入力したら、[次へ] をクリックします。
管理サーバーからの通知とパスワードのリセットの電子メールを受信するには、メールサーバーを設定する必要があります。また、指定されたメール サーバ情報を入力して、[テスト電子メールの送信] をクリックすることもできます。

7. 次のオプションから選択して、[次へ] をクリックします。
 - インストールが完了したら、LiveUpdate を実行するかどうか。インストール中に LiveUpdate を実行することをお勧めします。(14.3 MPx 以前)
 - シマンテック社がクライアントからのデータを収集するかどうか。
 - パートナー情報(ライセンスの状況に対して適用される場合)。このステップを完了するには、しばらく時間がかかります。
8. [設定が完了しました] パネルで [完了] をクリックして を起動します。
9. のログオン画面で、ステップ 6 で作成したユーザー名とパスワードを入力し、ログオンできることを確認します。デフォルトのユーザー名は `admin` です。

クライアント数が 500 以下の環境で SQL Server データベースが必要な場合は、以下を参照してください。

カスタム設定を使用した Symantec Endpoint Protection Manager のインストール

Symantec Endpoint Security クラウド コンソールから Symantec Endpoint Protection クライアントを管理することもできます。インストールが完了した後はいつでも、Symantec Endpoint Protection Manager ドメインを登録できます。次のサイトを参照してください。

Symantec Endpoint Protection Manager コンソールからドメインをクラウドコンソールに登録する

ステップ 3: ライセンスをアクティブ化しグループを追加する

Symantec Endpoint Protection Manager にログオンすると、[始めましょう] 画面が表示され、共通タスクの複数のリンクが示されます。たとえば、ライセンスをアクティブ化したり、Symantec Endpoint Protection クライアントを配備したりできます。

この画面は、Symantec Endpoint Protection Manager の右上隅の [ヘルプ] > [始めましょうページ] をクリックして、いつでも開くことができます。Symantec Endpoint Protection Manager におけるその他の一般的なタスクのビデオツアーについては、[機能の紹介ツアーを見る] をクリックしてください。

製品のライセンスをアクティブ化するには

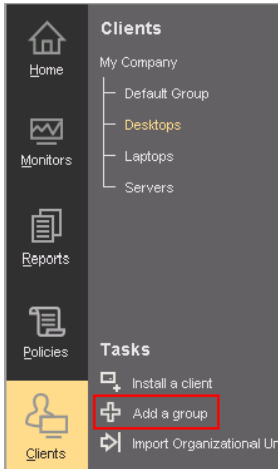
1. Symantec Endpoint Protection Manager の左ペインで、[管理] > [ライセンス] をクリックします。
2. [タスク] で、[ライセンスをアクティブ化する] をクリックします。
3. シリアル番号または注文処理の電子メールに含まれる .SLF ライセンスファイルを使用し、プロンプトの指示に従ってライセンスをインストールします。

クライアントにグループを追加する方法

シマンテック社はデスクトップ、ノートパソコン、サーバーの個別のグループを作成することを推奨します。

1. Symantec Endpoint Protection Manager の左ペインで、[クライアント] をクリックします。
2. [クライアント] の下にある [My Company] をクリックします。
3. [タスク] で、[グループを追加] をクリックします。
4. [My Company のグループを追加] ダイアログボックスで、グループ名と説明を入力し、[OK] をクリックします。

その後、ポリシー継承などのグループ設定をさらに設定できます。



ステップ 4: Symantec Endpoint Protection クライアントのインストール

Symantec Endpoint Protection Manager を使用してクライアントをインストールする前に、次の項目を確認します。

- ネットワーク経由でコンピュータにアクセスできることを確認します。
- 配備先のコンピュータに管理者の資格情報があることを確認します。

管理外クライアントのインストールについては、以下を参照してください。

管理外 Windows クライアントのインストール

1. の左ペインで、[クライアント] をクリックします。
2. [クライアント] で、前に作成したグループを選択します。
3. [タスク] で、[クライアントのインストール] をクリックします。
4. [クライアント配備ウィザードによるこそ] パネルで [新しいパッケージ配備] をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. [インストールパッケージ] ドロップダウンリストで、クライアントコンピュータのオペレーティングシステムに一致するオペレーティングシステムを選択します。
6. 前のステップで選択したオペレーティングシステムにより、以下のオプションを選択します。
 - **Windows** のインストールパッケージ:
 - [インストール機能セット] ドロップダウンリストで、デフォルト設定の [クライアントの完全保護] を維持します。
 - [インストールの設定] ドロップダウンリストで、デフォルト設定の [デフォルトの Windows 用標準クライアントインストール設定] を維持します。

これらのデフォルト設定には再起動が必要です。再起動の設定を変更するには、カスタムのインストール設定パッケージを最初に追加する必要があります。クライアントパッケージを追加したら、[オプション] をクリックしてカスタムパッケージを選択します。次のサイトを参照してください。

[Symantec Endpoint Protection Manager でカスタム クライアント インストール パッケージを作成する方法](#)

 - [コンテンツオプション] の横にあるチェックボックスでチェックマークを付けるか、またははずしてウイルス定義を含めるかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。
- **Mac** のインストールパッケージ:
 - [アップグレードの設定] のデフォルト設定を維持し、[次へ] をクリックします。
- **Linux** のインストールパッケージ:
 - [次へ] をクリックします。Linux のパッケージでは、[Web リンクと電子メール] または [パッケージの保存] の配備方式のみに限定されます。次のサイトを参照してください。
 - [for Linux クライアントのインストール \(14.3 MP1 以前\)](#)
 - [Symantec Agent for Linux 14.3 RU1 のインストール](#)

7. [リモートプッシュ] をクリックし、[次へ] をクリックします。
8. [ネットワークの参照] タブで、ワークグループまたはドメインを参照し、クライアントをプッシュするターゲットのコンピュータを選択します。コンピュータを選択したら、[>>] オプションをクリックして右ウィンドウにそれらを追加します。
9. 目的のコンピュータを追加したら、[次へ] をクリックします。
10. [送信] をクリックして、処理を開始します。
プッシュインストールが完了すると、プッシュの結果を含む [配備の概略] ウィンドウが表示されます。
11. [次へ] をクリックし、[完了] をクリックして、ウィザードを終了します。
このウィンドウは、インストールファイルが正常にコピーされたことを示します。
12. クライアントが正常にインストールされたかを確認するには、先ほど [クライアント] ペインに追加したクライアントグループ内にそのクライアントが存在することを確認します。次のサイトを参照してください。
[クライアントが管理サーバーに接続され、保護されているかどうかの確認](#)

ステップ 5: 最新の定義がインストールされているかを確認する

1. の左ペインで、[ホーム] をクリックします。
2. [エンドポイントの状態] ボックスの [Windows 定義] で、[管理サーバー上の最新版] と [シマンテック社からの最新版] の日付を比較します。

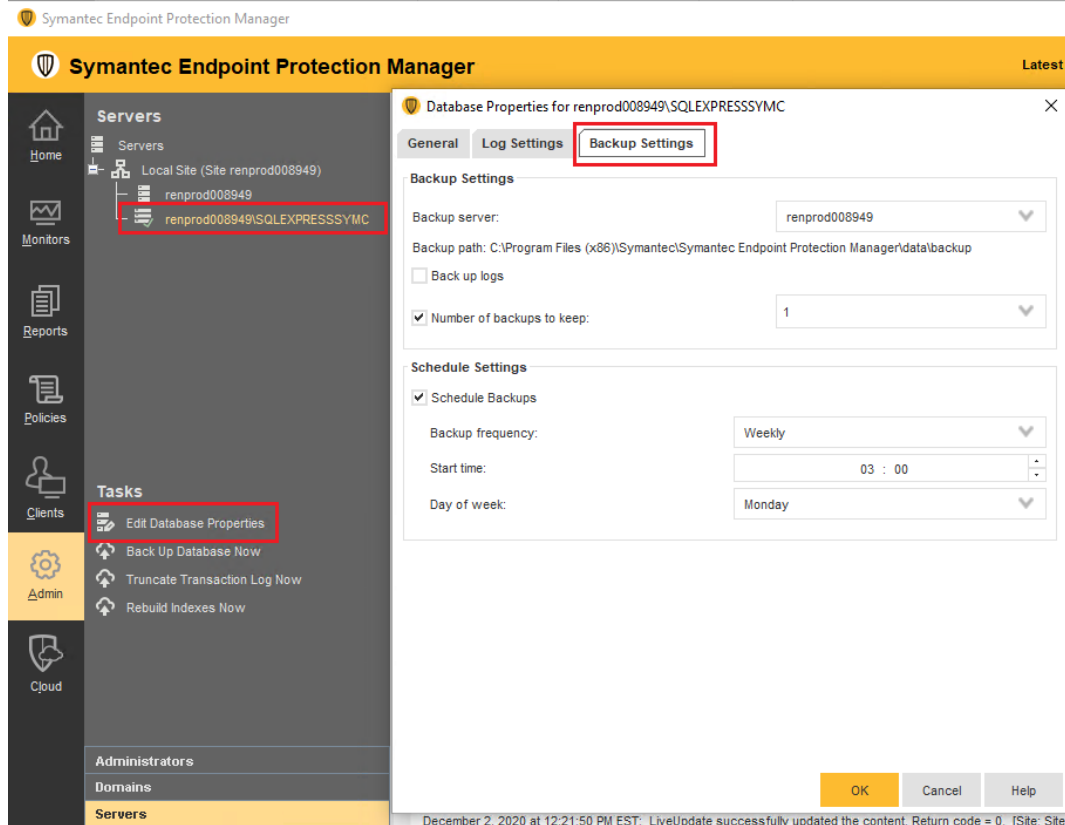
The screenshot shows the 'Endpoint Status' page in the Symantec Endpoint Protection console. On the left is a navigation sidebar with icons for Home, Monitors, Reports, Policies, Clients, and Admin. The main content area is titled 'Endpoint Status' and includes a section for 'Endpoint Protection' with a donut chart. The chart shows 1 'Up-to-date' endpoint (green), and 0 for 'Out-of-date', 'Offline', 'Disabled', and 'Host Integrity Failed'. Below the chart, it states 'Computers needing a restart: 0' and provides a 'View Details' link. A red box highlights the 'Windows Definitions' section, which shows 'Latest from Symantec: 8/19/16 r2' and 'Latest on Manager: 8/18/16 r6'.

3. 日付が一致しない場合は、[ヘルプ] > [「始めましょう」 ページ] を選択し、[今すぐ LiveUpdate を実行します] をクリックしてから [ダウンロード] をクリックします。

ステップ 6: データベースバックアップ設定を確認する

1. の左ペインで、[管理] > [サーバー] をクリックします。
2. [サーバー] で、[ローカルサイト (マイサイト)] > [SQLEXPRESSSYMC] をクリックします。
14.3 MPx 以前の場合は、[localhost] をクリックします。
3. [タスク] の下で、[データベースプロパティの編集] をクリックします。

4. [バックアップの設定] タブで、必要な調整を行い、[OK] をクリックします。
デフォルトでは、バックアップは週に 1 回保存されます。



付録：追加のリソースとガイド

- [Symantec Endpoint Protection の製品ガイドとマニュアル](#)
- [Symantec Endpoint Protection のベストプラクティス](#)
- [Symantec Endpoint Protection で使用する通信ポート](#)
- [インストール時または設定時に、ユーザー権利がない、またはユーザー権利を読み取れないというエラーが発生する](#)

著作権に関する声明

Broadcom、パルスロゴ、Connecting everything、および Symantec は、Broadcom の商標です。

Copyright ©2021 Broadcom. All Rights Reserved.

「Broadcom」または「ブロードコム」という用語は、Broadcom Inc. またはその関連会社を示します。詳しくは、www.broadcom.com を参照してください。

Broadcom は、品質、機能、設計を改善するため、ここに記載された製品やデータを予告なく変更する権利を留保します。Broadcom は、提供する情報の正確さと信頼性に細心の注意を払っています。ただし、Broadcom はこの情報の適用または使用、もしくはここに記載された製品や回路の適用または使用から生じる一切の責任を負わないものとし、また特許権やその他の権利に対するライセンスを付与しません。

